

市内の自然・史跡や特産品なども交えて見所をお伝えしながら、地元の身近なウォーキングコースを紹介していきます。地元の意外と知られていない名所や素晴らしい自然、見所を巡りながら、皆さんもぜひ歩いてみませんか。

常陸太田市 文化課エコミュージアム推進室 (内線 541)

幡町ハイキングコース

距離：約6.5km 所要時間：3時間

今回は幡町を歩いてきました。「常陸国風土記」によると、その昔、美濃から久慈に移り住んだ長幡部一族の多呂命(タテノミコト)が、幡山の台地に居を構えたと伝えられています。多呂命は機屋を造って初めて布を織り、この布を毎年神への供え物として奉納したといわれています。幡山には前方後円墳や円墳をはじめ100基以上の横穴群があり、線刻壁画が描かれたものなどもあります。また、日照りのとき、弘法大師が孝行娘のため地面を杖で叩いたところ泉が噴出したという「弘法泉」と呼ばれる民話も伝承され、史跡や歴史的な言い伝えも豊富な土地です。台地からの眺めも良く自然にも恵まれています。

1 道標
道路改良で移されたお地蔵さんが、道標の上に乗っている

2 長幡部神社
切り通しのような狭い参道の階段を登ると、機織の長幡部一族が祀った神社がある。近くには弘法泉とされる泉がある

3 古墳公園
四季の丘はたそめ団地がつくられた幡山の台地には、円墳や横穴群などがたくさんあったことからモニュメントとして作られた

4 復元幡山古墳群
発掘した2基の石室部分を移し、小学校敷地内に復元したもの。誰でも見学することができる(学校に一声かけてください)

5 石山馬頭観音
道路拡張時にブロック塀に取り付けられた珍しい馬頭観音

6 幡バツケ横穴墓
市指定文化財の幡バツケ横穴墓にある鳥の線刻壁画。震災後は公開が止められている

7 磨崖仏
のぞみ幼稚園近くの岩壁に掘られた穴の内側に磨崖仏が刻まれている。コケが生え雰囲気たっぷり

スタート・ゴール 機初公民館

のぞみ幼

幡町

293

常陸太田線

里川

機初小

コンビニ

ながはたべ

み の